



第 5 号

平成18年 3月 1日

発行所

福島県立二本松工業高等学校同窓会
〒964-0937

福島県二本松市榎戸1丁目58ノ2

TEL 0243-23-0960

FAX 0243-22-7388

発行者 菅野吉三

印刷 株式会社丸井工文社

福島県立二本松工業高等学校 同窓会 会 報

校 歌

詞 草野心平
曲 小山清茂

一日輪は 天にかがやき
阿武隈は 光る動脈
ここ榎戸の 美しき地に
日毎集る われら若人
腕組まん ともに
学ばなん ともに
真善美 ひたに求めて
ああ母校 二本松
われらは愛す
われらが母校

C O N T E N T S

同窓会会長挨拶	2
学校長挨拶	3
新実習棟第一期工事完成 披露見学会に参加して	4
第一期工事実習棟改築記録	5
同窓会だより	6
母校だより	8



同窓会会長挨拶



菅野 吉三

プロフィール

昭和42年度卒業機械科4期生三
菱ふそうテクノメタル(株)勤務
労働組合活動及地域の小・中学校
の育成活動等世話役活動を継続
中

「環境整備により資質向上を」

早春の候、会員皆様方には各分野でご活躍され、益々御健勝のことと拝察致します。

二十一世紀も早や7年目となり、マクロ経済は世界規模でも緩やかな成長が続いておりますが、昨年来からの原油の急騰が長期化し、日本経済は、鉱工業の原材料への影響や、自動車・家庭燃料等の国民生活へも大きな影響をもたらしております。

二極化や格差社会の表現は、努力した証と努力しても報われない結果だと、年頃から言われております。

今まで私達は数多くの経済変動や

社会情勢の変化に対応し、難局を切り拓いて来ました。

その原動力は勤勉な国民性と創造性豊かな多くの人々の懸命な努力の成果だと思います。

本校も一九六二年に開校から四十五年目を迎えます。

現在の高度社会を築き上げて来た所謂、団塊の世代の第一期生が六十歳の節目の年となり、二〇〇七年問題対応では、高齢者継続雇用の法制化がこの四月から施行予定で、その対象者でもあります。

情報化時代に対応すべく学科改編も実施され、四月からは全校生徒が改編後の学級になります。

長年の計画であった実習棟の第一期改築工事は昨秋完成し、新しい環境で高度な実習を行っております。

設備機器の搬入前に見学会が学校側の案内により実施されました。

コンクリートの床や幾多の卒業生を輩出した歴史ある建物から、既報四号でもご案内したように、改築工事の写真や新しい実習棟内は、中央通路を挟んで実習室が並び、中央部は二階まで、吹き抜けとなっており、自然採光により今までにない、明るい環境を醸し出しております。

また、二階のオープンテラスは新鮮な空気と気分転換可能な憩いの場として、ソフトな環境は心の豊かさを引き出す有意義な空間です。

二階西側の窓越しには市民会館の奥に安達太良山の雄姿が眺望でき、創造豊かな産業人を育成する、最善の環境となっています。

新しい情報化システムの教育・実習の成果で、実社会のリーダー育成の発信基地として願う次第です。

更には、長年の計画により立派に完成した建物は、関係各位の努力による成果でもあり、整理整頓は物事の基本として、日常の管理運営を切望致したいものです。

昨今、多くの著名人が「ものづく

りの重要性」を見直しその必要性を説いております。

工業高校の教育方針にあります、「日本人として人間性と専門性を兼ね備えた産業人を養成する」と合致するものです。

金融・流通等の第三次産業が繁栄する源泉でもあり、普遍と言っても過言ではありません。

基本方針の実行の結果、ここ数年各種資格検定試験で、数多くの合格者の実績からも、実践が証明され喜ばしく誇りでもあります。

第二期工事もこれから随時実施の予定であり、更なる教育施設の充実に向け期待を致すものです。

耐震強度偽証や一部情報会社による違法な証券取引、米国产牛肉の不法な輸入等々、市場万能主義による不祥事が相次いでおります。

マネーゲームが横行し額に汗して働く努力への再認識・警鐘と受け止めなければなりません。

同窓会は今後も学校関係者やPTAの方々と連携を深め、各事業の運営を引き続き推進して参ります。

新たな実習等見学へ是非機会を作り、松工サポート頂きたい事を念願しあいさつと致します。

学校長挨拶



栗村 知

プロフィール

「会津生れの浜育ち」会津喜多方市で生まれ、いわき市平で育つ。専門教科工業（機械）。趣味テニス。二本松工業高、埼玉工業高、川俣高、福島工業高、教育センター、教育委員会、勿来工業高、小高工業高を歴任され、平成17年4月本校に着任、現在に至る。

「実習棟第一期解体工事をステップに」

二本松工業高等学校同窓会は、これまで、菅野吉三会長はじめ役員の方々を中心に、本校の発展に大きく寄与されてこられました。様々な事業・活動を通じて教育環境の維持・向上に重要な役割を果たされておられますことに、心より感謝申し上げます。

本校は昭和三十七年四月、地域社会からの強い要請により、産業教育振興と中堅技術者養成を使命とし、安達地区唯一の県立工業高校として、この地「榎戸の丘」に開設さ

れました。以来、四十数年、巣立った同窓生は九千三百六十七名を数えるに至り、工業界はもとよりあらゆる分野で活躍されておられますことは、誠に心強いものであります。

お陰様で、本日ここに第四十二回卒業式を迎え、新たな百七十七名を送り出すことになりました。社会に出て何よりも頼りになり、支えになるのは、同窓会の皆様の存在であります。新社会人となる後輩たちに、是非、温かいご支援をお願いいたします。

来年度は、他の工業高校に先駆け、た学科改編による第三期生が入学し、機械システム、情報システム、都市

システムの三学科体制が完成することになりました。機械システム科は、テクニカル・プランニング・ロボット制御の三コースにより、システム化された製造技術に対応できる能力の育成を目指します。情報システム科は、エレクトリック・コンピュータ・デザイン・情報デザインの四コースにより、「情報」を専門分野の中心に位置づけ、様々な課題に対応できる能力の育成を目指します。都市システム科は、都市エンジニア・環境プランニングの二コースにより、自然環境との調和を図りながら、ITを活用した都市づくりに対応できる能力の育成を目指します。三科に共通するのは、それぞれの専門分野における課題に対し、主体的に考え、判断し、解決できる実践的技術者を育成することにあります。

・第一期解体工事
旧電気・電子実習棟

・第一期建設工事
三二五¹m²・二階建

(十七年七月)

・第二期解体工事
旧機械・土木実習棟

(十八年一月)

・第二期建設工事
三三一¹m²・平屋

(十九年一月)

この十一月には第一期の実習棟が完成し、引越しも完了いたしました。新実習棟は中央に通路、その両側に実習室が配置され、通路部分は二階まで吹き抜けになっており、自然採光を十分に採り入れたすばらしい建物になっております。我々職員はじめ生徒達も、大事に使用していきたいと考えているところです。

このように、学科改編の進行と共に新たな環境の整う中、本校の存在意義は生徒諸君の進路実現にあると考え、「実社会に通用する人材の育成」をスローガンに掲げ、教育活動に勤しんでおります。

同窓会の皆様におかれましては、どうぞ本校の取り組みにご理解を頂き、温かいご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の方々の一層のご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

新実習棟第一期工事完成

披露見学会に参加して

同窓会副会長 丹治茂雄

「うわぁ明るい」新実習棟の入口を入った時の第一印象です。

二階の天井まで吹き抜けになっており、また天井からは明り取りがなされているため、今までの「暗くて寒い」実習棟のイメージとはまったく違った、「明るく暖かい」感じの実習棟になっております。

空間スペースなども十分に考慮されており、まだ各種設備等が入っておりませんが、今後二期工事や設備が完備されれば、最新の機械・機器・機材等を使うことにより、時代の要求にこたえ、即戦力になりうる松工卒業生の技術力は益々向上するものと思われれます。

松工の第一回卒業生も、来年は還暦を迎える年になります。卒業生各

位も、この機会にぜひ松工へ足を運ばれ、長年の経験を生かされ、学校へ行くのが楽しみになるような実習棟になるよう、ご助言・ご協力のほどお願いいたします。



第一期工事
実習棟改築記録



2005.3.15



2005.2.8



2005.1.20



2005.3.23



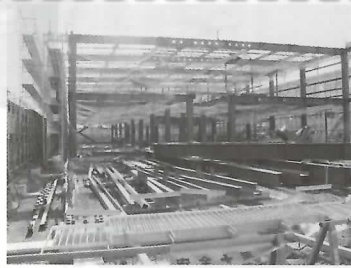
2005.3.18



2005.3.17



2005.4.4



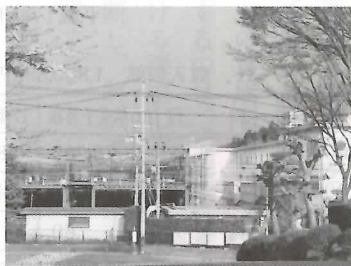
2005.3.30



2005.3.24



2005.4.30



2005.4.21



2005.4.13



2005.6.1



2005.5.20



2005.4.30



2005.9.29



2005.9.29



2005.8.22

同窓会 だより

総会報告

平成十七年度同窓会総会は、栗村校長先生方々のご臨席を賜り、七月二十三日（土）ウエディングパレスかねすいで行われました。
収支決算・予算は下記のとおりです。役員については前年度に引き続

いて承認され、なおかつ、佐藤昭次氏が顧問に推挙され、承認されました。総会にて前会長佐藤昭次氏と前副会長野地勇雄氏に対しまして、感謝状が贈呈されました。総会後、なごやかに懇親会が行われました。



平成16年度 同窓会収支決算書

1. 収入の部 2,174,928円

科 目	16年度予算額	16年度決算額	増 減	備 考
会 費	1,075,000	1,070,000	△5,000	214人×5,000円
入 会 金	400,000	400,000	0	200人×2,000円
雑 収 入	80	8	△72	預金利息
繰 越 金	704,920	704,920	0	
計	2,180,000	2,174,928	△5,072	

2. 支出の部 1,609,083円

科 目	16年度予算額	16年度決算額	増 減	備 考
会 議 費	230,000	131,270	98,730	役員会、総会
行 事 費	100,000	26,900	73,100	入会式
通 信 費	120,000	32,660	87,340	ハガキ、切手
会 報 費	400,000	333,348	66,652	会報発行
慶 忌 費	80,000	15,000	65,000	香典、その他
記念品費	250,000	189,588	60,412	卒業記念品（証書バインダー）
後 援 費	400,000	323,225	76,775	激励金、広告、くろがね祭後援
事業積立金	350,000	350,000	0	
事 務 費	220,000	207,092	12,908	データメンテナンス、事務用品等
予 備 費	30,000	0	30,000	
計	2,180,000	1,609,083	570,917	

3. 残額 565,845円

平成17年度 同窓会収支予算書

1. 収入の部 1,860,850円

科 目	16年度予算額	17年度決算額	増 減	備 考
会 費	1,075,000	895,000	△180,000	179人×5,000円
入 会 金	400,000	400,000	0	200人×2,000円
雑 収 入	80	5	△75	預金利息等
繰 越 金	704,920	565,845	139,075	
計	2,180,000	1,860,850	△319,150	

2. 支出の部 1,860,850円

科 目	16年度予算額	17年度予算額	増 減	備 考
会 議 費	230,000	230,000	0	役員会、同窓会総会
行 事 費	100,000	80,000	△20,000	入会式
通 信 費	120,000	80,000	△40,000	ハガキ、切手
会 報 費	400,000	430,000	30,000	会報発行
慶 忌 費	80,000	70,000	△10,000	香典、その他
記念品費	250,000	230,000	△20,000	卒業記念品
後 援 費	400,000	250,000	△150,000	激励金、広告
事業積立金	350,000	250,000	△100,000	
事 務 費	220,000	210,000	△10,000	事務用品データ入力費ロッカー等
予 備 費	30,000	30,850	850	
計	2,180,000	1,860,850	△319,150	

歳出予算科目に過不足が生じたときは、会長に限り各科目間において流用することが出来る。

■ 平成17年度役員 ■

役 職	氏 名	卒業年度	学科
会 長	菅野 吉三	42	機械
副 会 長	佐藤 忠司	40	土木
	丹治 茂雄	40	機械
	大内 正人	44	電気
監 事	津田 吉子	48	デザイン
	菊地 清義	44	電気
	佐藤 智子	47	デザイン
	鈴木 昭市	49	土木
会 計 事	齋藤 実	46	機械
理	渡辺 和成	39	機械
	大内 庄五郎	41	電子
	丹野 武志	41	土木
	星 光	42	機械
	阿部 昭一	42	土木
	安齋 喜八	42	土木
	本多 真道	42	土木
	野地 一司	44	機械
	尾形 巳芳	47	電気
	半澤 秋子	48	デザイン
	高橋 薫	49	機械
(兼事務局員)	山川 博徳	55	土木
	鈴木 新栄	57	機械
	佐々木久美子	57	デザイン
	渡辺 恵美子	57	デザイン
	大内 友子	59	デザイン
	朝倉 宏揮	62	土木
	高橋 周平	05	電子
	丹野 勇弥	07	土木
事 務 局 長	星 諒二		
事 務 局 次 長	大柳 正三		
事務局・会計	小形 義元		
顧 問	鈴木 清治		初代会長
	阿相 利和		前々会長
	佐藤 昭次		前会長
	栗村 知		学校長

会報委員会 委員長 丹治茂雄
 委員 本田 正
 事務局 大柳正三 鈴木新栄 高橋周平



個人情報保護法について

さて、皆様もご承知のとおり「個人情報保護法」が施行されます。私ども同窓会においても会員の皆様の個人情報について、管理の徹底・安全対策を充分に図って参ります。

なお、住所変更や個人情報についてのお問い合わせは、本会事務局にご連絡をお願い申し上げます。

福島県立二本松工業高等学校 同窓会事務局
 tel 0243-23-0960

松工テレホンサービス (0243) 62-3330
 松工Eメールアドレス netmaster@nihonmatsu-th.fks.ed.jp
 松工ホームページアドレス http://www.nihonmatsu-th.fks.ed.jp

■ 同窓会入会式 ■

第四十一回同窓会入会式は二月二十八日、母校体育館で行われました。

菅野吉三同窓会会長より次の皆さんが幹事に任命されました。よろしくお願い致します。

工業デザイン科	土木科	電子科	電気科	機械科B組	機械科A組	柴田 拓
大内 千歳	服部 雄太	篠塚 寛大	佐藤 健太	鳴原 努	大内 千歳	

編集後記

実習棟改築工事にあたり、第一期工事の完成を見ることができました。今回の記録写真からも、古くて懐かしい物が壊されていく中で、すぐさま新しい建物の骨組みが出来上がっていく様子は真に、生き物の春の芽吹きを感じさせるものがありました。

時を同じくして新実習棟の脇の敷地では第二期工事の為の解体工事が進行し、更に次の棟の建設計画が始まっています。

前回の会報は昭和39年度と昭和43年度に卒業された方々に送らせて頂きました。今回の会報については昭和44年度と昭和48年度に卒業された方々にお送りしたいと思えます。これを機に事務局では多数の同窓生に会報を読んでそして見て頂ける様、準備しております。クラス会や社内の同窓会などにご活用下さい。

会報委員長 丹治 茂雄
 委員 本田 正
 事務局 大柳 正三 高橋 周平 鈴木 新栄



2005.07.20. 水泳部 市川航君
東北高等学校選手権水泳競技大会出場激励
結果 男子 200m 平泳ぎ 第1位
結果 男子 100m 平泳ぎ 第2位



2005.09.02. カヌー部 齋藤駿介君・和田恭平君
おかやま国体出場激励



2005.10.17. 水泳部 市川航君 東北高等学校新人水泳競技大会出場激励
結果 男子 100m 平泳ぎ 第2位 男子 200m 平泳ぎ 第3位



2005.10.07. 都市システム科 佐藤貴士君
測量士補 国家試験合格報告

